

Title	福沢書翰の新資料(明治三十年十一月十七日付渡辺晋三宛)
Sub Title	
Author	会田, 倉吉(Aida, Kurakichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1969
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.42, No.2 (1969. 11) ,p.130(264)- 130(264)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	余白録
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19691100-0131">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19691100-0131</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

福沢書翰の新資料

(明治三十年十一月十七日付)

渡辺晋三宛)

去る昭和四十三年五月十日、慶応義塾大学文学部教授佐原六郎氏から塾史編纂所に宛てて、一通の福沢諭吉の書翰の写真を寄せられた。佐原教授の知人で、京都にお住まいの水兼次郎氏からおくつてこられたものだろうで、原本はその清水氏の亡友の所蔵にかかるということであるが、『福沢諭吉全集』には未収の新資料である。よつて、ここに全文を紹介しておく。

内容は、明治三十年十一月に福沢が家族を伴つて京阪山陽方面に遊んだ際、京都で妻錦が歯痛になやまされ、夜中往診を依頼したものである。

(△会田倉吉)

未タ拝顔不致候得共一書を呈し相願候義ハ本月初東京出發之節兼而相知る齒家伊沢氏より  
の差図ニ京都滞在中若し齒之患阿らバ渡辺国  
手ニ御頼み申せとて尊名之書付をも貰ひ參候  
処同行之老妻事両三日前より齒痛ニ苦しみ今  
宵ハ殆んど堪兼候場合ニ至り候ニ付而者甚タ  
申上兼候得共一寸御來診相願度事情次第ニ而  
或ハ抜取るか又ハ姑息ニ鎮痛法を施すか兎ニ  
角ニ御診察被成下候様願度夜中突然書面ニ而  
申上候義恐縮ながら何卒御承知奉願候餘ハ拜  
眉之時ニ残し候

匆々頓首

三十年

十一月十七日

福沢諭吉

渡辺晋三様